



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 中外鉱業株式会社 上場取引所 東
コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西元 丈夫
問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲 TEL 03-3201-1541
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	193,593	64.7	1,578	34.5	1,470	32.7	1,461	13.5
2025年3月期第3四半期	117,536	39.9	1,173	317.4	1,108	365.5	1,287	462.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,461百万円 (13.5%) 2025年3月期第3四半期 1,287百万円 (462.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	101.45	—
2025年3月期第3四半期	89.32	—

(注) 1. 当社は、2025年10月1日を効力発生日として株式併合（普通株式20株につき1株）を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	23,325	9,335	40.0
2025年3月期	16,525	8,182	49.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 9,335百万円 2025年3月期 8,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.50	—	1.00	1.50
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年10月1日を効力発生日として株式併合（普通株式20株を1株に併合）を実施しております。2025年3月期については、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	271,000	66.9	2,180	53.8	2,000	61.6	1,280	5.1	88.97

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2025年10月1日を効力発生日として株式併合（普通株式20株を1株に併合）を実施しております。1株当たり当期純利益については、当該株式併合後の額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	14,487,399株	2025年3月期	14,487,399株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	101,118株	2025年3月期	76,942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	14,404,241株	2025年3月期3Q	14,410,522株

(注) 1. 当社は、2025年10月1日を効力発生日として株式併合 (普通株式20株を1株に併合) を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善などを背景に景気は緩やかな回復が見られるものの、米国を始めとする各国の通商政策や物価上昇、金融資本市場の変動による影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米国の通商政策や金融政策の動向、地政学的リスクの高まり等を背景に歴史的高値を更新し続ける等、引き続き高値圏で推移しております。業績については、金相場が上昇基調で推移し、リサイクル原料の集荷量が堅調であったことにより工場稼働率が高水準を維持したことから好調に推移いたしました。機械市況においては、外需は根強い設備投資需要が感じられるものの、内需は中小企業を中心に様子見の動きが継続しており、厳しい事業環境の下推移いたしました。コンテンツ事業においては、人気タイトルのグッズ製造・販売に努めたものの、委託販売先での売上が落ち込んだことから前年実績を下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は193,593,819千円(前年同四半期117,536,021千円64.7%増)、営業損益は1,578,480千円の利益(前年同四半期1,173,366千円の利益)、経常損益は1,470,803千円の利益(前年同四半期1,108,535千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は1,461,373千円の利益(前年同四半期1,287,206千円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は191,038,739千円(前年同四半期113,891,418千円)、営業損益は1,920,930千円の利益(前年同四半期821,654千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は529,207千円(前年同四半期578,721千円)、営業損益は3,396千円の損失(前年同四半期10,675千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は2,033,643千円(前年同四半期3,004,309千円)、営業損益は131,945千円の利益(前年同四半期732,432千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より6,800,057千円増加し、23,325,933千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より5,831,741千円増加し、18,958,289千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(2,395,526千円から4,401,193千円へ2,005,667千円の増加)及び原材料及び貯蔵品の増加(4,446,473千円から8,043,945千円へ3,597,472千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(4,141,237千円から3,142,585千円へ998,652千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より968,316千円増加し、4,367,643千円となりました。

増加の主なものは、建物及び構築物の増加(252,510千円から1,654,607千円へ1,402,096千円の増加)及び投資有価証券の増加(110,071千円から491,405千円へ381,333千円の増加)であります。

減少の主なものは、建設仮勘定の減少(972,284千円から165,269千円へ807,015千円の減少)であります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より4,852,041千円増加し、11,792,079千円となりました。

増加の主なものは買掛金の増加(417,379千円から1,781,240千円へ1,363,861千円の増加)及び前受金の増加(4,589,606千円から7,966,632千円へ3,377,025千円の増加)であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より794,466千円増加し、2,198,116千円となりました。

増加の主なものは長期借入金の増加(1,177,532千円から1,939,738千円へ762,206千円の増加)であります。

純資産の残高は、前連結会計年度末より1,153,549千円増加し、9,335,737千円となりました。

増加の主なものは利益剰余金の増加(2,014,850千円から3,188,014千円へ1,173,164千円の増加)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年11月13日に公表の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2026年2月13日に公表の「2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,141,237	3,142,585
売掛金	889,126	853,787
商品及び製品	2,395,526	4,401,193
仕掛品	1,116,067	1,918,769
原材料及び貯蔵品	4,446,473	8,043,945
預け金	50,195	50,220
その他	132,998	592,864
貸倒引当金	△45,076	△45,076
流動資産合計	13,126,548	18,958,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	630,616	2,076,335
減価償却累計額	△378,106	△421,727
建物及び構築物（純額）	252,510	1,654,607
機械装置及び運搬具	567,023	567,843
減価償却累計額	△506,001	△516,609
機械装置及び運搬具（純額）	61,021	51,233
土地	1,472,391	1,472,391
その他	146,715	160,551
減価償却累計額	△98,699	△111,393
その他（純額）	48,015	49,157
建設仮勘定	972,284	165,269
有形固定資産合計	2,806,223	3,392,658
無形固定資産		
その他	19,316	14,935
無形固定資産合計	19,316	14,935
投資その他の資産		
投資有価証券	110,071	491,405
出資金	158,089	165,079
敷金及び保証金	148,429	148,505
繰延税金資産	147,462	149,552
その他	55,668	51,439
投資損失引当金	△45,933	△45,933
投資その他の資産合計	573,787	960,049
固定資産合計	3,399,327	4,367,643
資産合計	16,525,875	23,325,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	417,379	1,781,240
短期借入金	1,500,000	1,712,864
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	38,746	18,493
未払金	115,174	93,100
未払法人税等	14,111	10,553
前受金	4,589,606	7,966,632
契約負債	5,772	1,879
その他	209,246	157,314
流動負債合計	6,940,037	11,792,079
固定負債		
長期借入金	1,177,532	1,939,738
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	1,475	32,653
資産除去債務	219,400	219,400
その他	1,290	2,371
固定負債合計	1,403,650	2,198,116
負債合計	8,343,687	13,990,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,148,926	6,148,926
利益剰余金	2,014,850	3,188,014
自己株式	△81,588	△101,204
株主資本合計	8,182,188	9,335,737
純資産合計	8,182,188	9,335,737
負債純資産合計	16,525,875	23,325,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	117,536,021	193,593,819
売上原価	114,507,965	190,031,751
売上総利益	3,028,055	3,562,068
販売費及び一般管理費	1,854,689	1,983,587
営業利益	1,173,366	1,578,480
営業外収益		
受取利息及び配当金	112	1,708
国庫補助金収入	8,593	8,593
保険金収入	652	—
為替差益	6,767	6,964
未払配当金除斥益	—	3,374
その他	3,267	4,448
営業外収益合計	19,393	25,090
営業外費用		
支払利息	13,027	27,717
休山管理費	57,787	74,780
その他	13,408	30,270
営業外費用合計	84,224	132,768
経常利益	1,108,535	1,470,803
特別利益		
固定資産売却益	145	1,049
特別利益合計	145	1,049
特別損失		
固定資産除却損	—	2,016
特別損失合計	—	2,016
税金等調整前四半期純利益	1,108,681	1,469,837
法人税、住民税及び事業税	10,593	10,553
法人税等調整額	△189,119	△2,090
法人税等合計	△178,525	8,463
四半期純利益	1,287,206	1,461,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,287,206	1,461,373

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,287,206	1,461,373
四半期包括利益	1,287,206	1,461,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,287,206	1,461,373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減 価 償 却 費	67,667千円	77,576千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属事業	機械事業	コンテンツ 事業				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	113,891,418	575,383	3,004,309	64,909	117,536,021	—	117,536,021
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,337	—	11,047	14,384	△14,384	—
計	113,891,418	578,721	3,004,309	75,956	117,550,405	△14,384	117,536,021
セグメント利益又はセグメント損失(△)	821,654	10,675	732,432	△28,973	1,535,789	△362,423	1,173,366

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△362,423千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△362,423千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貴金属事業	機械事業	コンテンツ 事業				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	191,028,579	518,083	2,033,643	13,513	193,593,819	—	193,593,819
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,160	11,123	—	11,047	32,331	△32,331	—
計	191,038,739	529,207	2,033,643	24,561	193,626,150	△32,331	193,593,819
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,920,930	△3,396	131,945	△49,730	1,999,748	△421,267	1,578,480

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△421,267千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△421,267千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。